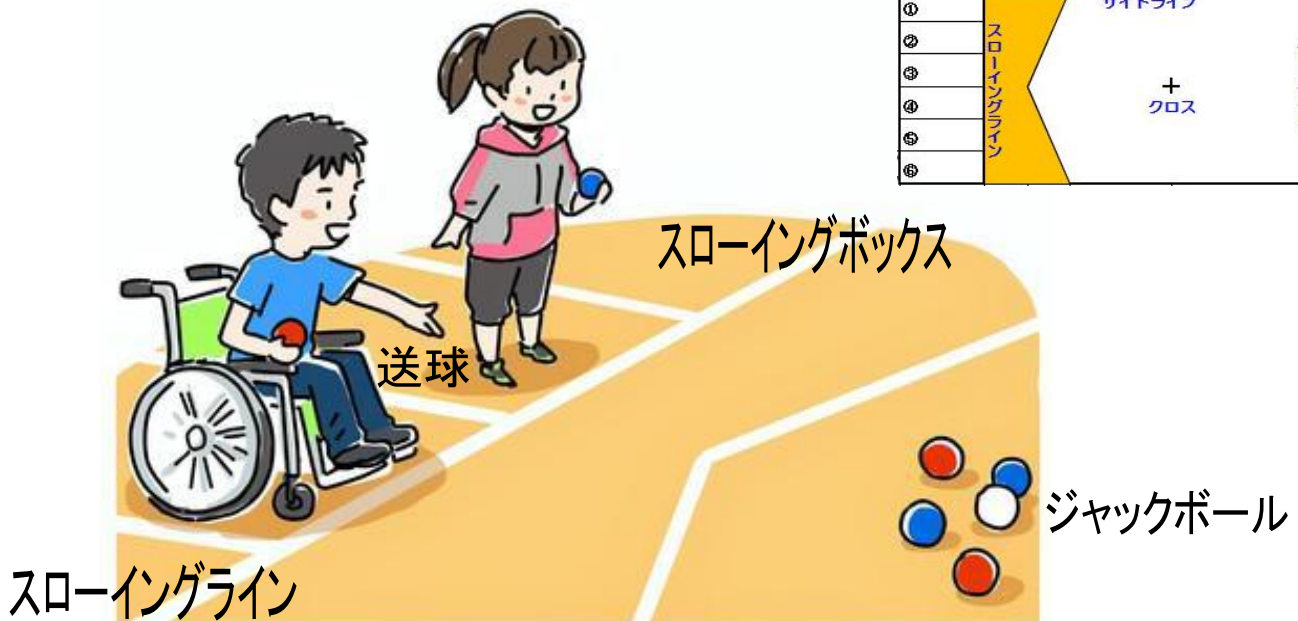


ボッチャ

岩手県立県北青少年の家



概要	スローイングボックスに入った2チームが、スローイングラインから白色の目標球（ジャックボール）に向かって、それぞれ赤と青のボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競うゲーム。
場所	プレイホール、スポーツホール
所要時間	設定なし。
準備	ジャックボール、ボール（12個）、ライン、得点表、筆記用具
活動内容	<p>競技者を2チームに分け、それぞれ赤と青のボールを分け合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技者2名の場合…一人の持ちボールは6個でプレイ。（ボックスは、③が赤、④が青） ・競技者4名の場合…一人の持ちボールは3個でプレイ。（ボックスは、②④が赤、③⑤が青） ・競技者6名の場合…一人の持ちボールは2個でプレイ。（ボックスは、①③⑤が赤、②④⑥が青） <p>①A・B両チームの代表がじゃんけんをする。…仮にAチームが勝ったとする。</p> <p>②Aチームがジャックボールを投げ入れる。（ジャックボールがジャックボール無効ゾーンに止まった場合は、相手側にジャックボールを投げる権利が移る。）</p> <p>③Aチームのジャックボールを投げた人が、ジャックボールに近づけるように赤色のボールを送球。</p> <p>④Bチームがジャックボールに近づけるように青色のボールを送球。</p> <p>⑤次は、ジャックボールから遠い距離にあるボールのチームが送球。</p> <p>⑥同様に次も、ジャックボールから遠いボールのチームが送球。つまり相手のボールより近くなるまで投げる。しかし、仮にAチームがボールを全て投げ終わりBチームに残りのボールがあればそのボールもさらに得点アップするために送球する。</p> <p>⑦ボールをすべて投げきって1エンドが終了。 負けチームのベストボールが基準となり、それより近い勝ちチームのボールの個数がそのまま得点となる。したがって負けチームの得点は常に0ということになる。（等距離の場合のみ1点ずつ両チームに入る。）</p> <p>⑧次のエンドは、Bチームがジャックボールを投げてゲームを進める。（その後は交互に投げ入れる。） <競技者2名・4名のときは4エンド。競技者6名のときは6エンド。></p> <p>※投げたボールが、ジャックボールや他のボールに当たってもゲームは続く。ジャックボールがコートから出てしまったときは、ジャックボールをクロスに置いてゲームを再開する。</p>
備考	休憩時間の利用も可。

※用具の取り扱いと事故防止には十分注意すること。